授業科目名・形態	医療的ケアⅢ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	今野修，小畑千春	実務経験の有無	有	開講期	2年後期
科目ナンバリング	W4-2045c				

【授業の主題】

本授業では，喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生を安全・適切に実施するために必要な技術習得を目的に，喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生の実施手順を演習を通して学習する。

【到達目標】

評価表項目全てにおいて，シミュレータを用いて効果的に手順通りに実施できる。

【授業計画・内容】

第１回　喀痰吸引演習ガイダンス，
　　実施手順と留意点の振り返り(今野)
第２回　喀痰吸引演習(今野)
第３回　喀痰吸引演習(今野)
第４回　喀痰吸引演習(今野)
第５回　喀痰吸引演習(今野)
第６回　喀痰吸引演習(今野)
第７回　喀痰吸引演習(今野)
第８回　喀痰吸引演習(今野)
第９回　経管栄養演習ガイダンス，
　　実施手順と留意点の振り返り(小畑)
第 10 回　経管栄養演習(小畑)
第 11 回　経管栄養演習(小畑)
第 12 回　経管栄養演習(小畑)
第 13 回　経管栄養演習(小畑)
第 14 回　経管栄養演習(小畑)
第 15 回　救急蘇生法演習(今野)

★演習に進める要件は，医療的ケアⅠおよび医療的ケアⅡの筆記試験の合格者である。
★演習では，厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要綱(2012.3)」に定める「基本研修（演習）の評価基準」に準じた１項目につき１人５回以上の実施を行なう。
★演習では，１項目につき１人５回以上の実施が予定回数内でできなかった場合には補習を行う。

【授業実施方法】

この授業においては、基本的手技を習得するタスクトレーニングが主になりますが、シナリオを変化させてそれに対応できるようになるためのシュチュエーション・ベースド・トレーニングの場にも発展するように進めます。

【事前・事後学習】

演習後の振り返りのための技術チェックを毎回１時間以上行うこと。

【主な関連する科目】

医療的ケアⅠ・Ⅱ

【教 科 書 等】

新・介護福祉士養成講座 15　医療的ケア第２版，中央法規出版.

【参 考 文 献】

介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト第３版，中央法規出版.

【成績評価方法】

技術の達成状況(80%)，演習態度(20%) 等による総合的評価
★演習では，厚生労働省「喀痰吸引等研修実施要綱(2012.3)」に定める「基本研修（演習）の評価基準」に沿って，演習シミュレータを用いて効果的に一人で実施できるまでを到達目標として評価する。

【実務経験及び実務を生かした授業内容】

病院等で患者さんの喀痰吸引や経管栄養の処置の経験を積んできました。その知識と経験を生かして，介護福祉士として利用者に安全な医行為を行うことの重要性をお伝えしたいと思います。

【学生へのメッセージ】

確実な実施手順の習得のためにも，繰り返しの練習に努めてください。また，演習を通して，看護職とどのように協働していくべきかについても学んでいってもらいたいと思います。